

KSCA 会報

Vol.13 2015.2.1

目次

PAGE 1-PAGE 2

(1) 教師が望むスクールカウンセラー
のありかた

PAGE 2-PAGE 3

(2) 私学スクールカウンセリング
研究会のご案内

PAGE 3

(3) 今後の予定
(4) KSCA連絡先

(1) 教師が望むスクールカウンセラーのありかた

横浜市立早渕中学校副校長 瀬田川聡

私は、スクールカウンセラーに助けられたことが、何回もあります。限られた紙面の中で、そのことを中心に書きたいと思います。

1) 教師の指導とカウンセリングの違いを理解している

教師は、問題行動に対して指導を行います。そのため、一見するとその生徒の気持ちを受け止めずに指導をせざるを得ない場合があります。被害を拡大させないためにも、まず問題行動を止めることにエネルギーを使うため、気持ちを受け止めて納得させるのが難しいケースが出てきます。

中学3年生のA男は、問題行動がなかなか収まりませんでした。その度に、教師からは、繰り返し指導されるものの、本人は納得していませんでした。その後、A男はスクールカウンセラーと面接をすることになります。彼は学校の指導の不満をスクールカウンセラーに語りました。「教師は、俺の気持ちをわかってくれない」、「いつも俺が悪いと思っている」と、悔しい気持ちをぶつけることができました。

スクールカウンセラーは、その気持ちを受け止めて面接を続けましたが、A男の問題行動に対しては、見逃さずに指摘をしました。「その行動は、仕事をする時にも認められると思う？」と問うと、数分間の沈黙後、「認められない」と言いました。「もしその行動を続けたらどうなるだろう・・・？」と質問をしながら、「B先生が、君の行動を見て見ぬ振りをしないのはなぜだろう？」、「見て見ぬ振りをするのがいい先生？」、「誰のために、注意しているのかな？」、「君が憎いの？」など、しっかりと傾聴しながら、不適切な行動に対しては指摘をして、A男とB先生のパイプ役になってくれました。何回か面接を行い、相談室で、担任教師、A男、スクールカウンセラー3人で話

し合いをしながら、卒業式まで頑張っていくことを約束しました。

私がこのケースで勉強になったのは、スクールカウンセリングでは、ただ気持ちを受け止めればいいのではないということ、また学校現場において特に大切なことは、生徒の気持ちを正確に受け止めた後に、その行動を社会的な状況（この場合、学校での生活）に合わせることができるよう、それを生徒の受け取りやすい形で伝え、修正していく、ということでした。言わば、スクールカウンセラーが、ある種の「指導」を行うということです。もちろん、教師とスクールカウンセラーでは立場が異なりますし、その「指導」の性質も随分と異なったものでした。しかし、教師とスクールカウンセラーが「同じ方向を向いている」ということを痛感しました。

お世話になったスクールカウンセラーには、来談者の生徒や保護者の気持ちを、ただ受け止めるだけに留まらず、学校に対してのマイナスな気持ちを、そのマイナスである性質を、まるで「合気道」における技のように用いながらも、最終的には生徒が学校生活を送る上で「プラス」になるような軌道修正を行い、教師と生徒あるいは保護者との関係修復を的確に行って頂きました。今でも感謝の気持ちで一杯です。

2) 教員の健康状態をケアできる

文部科学省は、平成24年3月に教員のメンタルヘルスの現状を発表しています。

全国で、教職員の病気休職者のうち、精神疾患による休職者の割合は、62.4パーセントになります。在職者に占める精神疾患による病気休職者の割合は増加傾向で、この10年間で約3倍になっています。そして新しく採用された教員のうち、1年以内に依願退職してしまう教員は288名もいることがわかりました。この人数の多さにはあらためて驚かされます。

私は、職場での立場上、職員から相談を持ちかけられることも少なくありません。私なりに、職員に、特に若い教員には気を遣って接しているつもりでした。あるとき私は、スクールカウンセラーから、「B先生の顔色がよくないですね」と言われたことがありました。B先生と私は一緒にいることが多いので、「まさか・・・」とは思ったものの、放課後に何気なく、B先生に「最近、何かあった？」と声をかけました。そうするとB先生は「実は・・・」と涙をためながら話してくれました。私はB先生に「なんで話してくれなかったの？」と、少し冗談混じりに笑って話すと、B先生は「瀬田川先生も忙しいので、申し訳ないと思って話すことができませんでした」と言っていました。

その時、私は、仲良く一緒に働いている先生の辛い気持ちに気がつくことが出来なかった情けない想いで胸が痛みました。同時に、スクールカウンセラーの一言に感謝しています。あの一言がなければ、私はずっと、B先生の状態に気がつくことができないままだったと思います。教職員のメンタルヘルスの現状を考えても、スクールカウンセラーの存在は大きいと痛感した出来事です。

私の拙い体験を書かせて頂きましたが、上述の2点は、スクールカウンセラーが「コンサルテーション」をしていることのあらわれだったのだらうと思います。スクールカウンセラーは、生徒や保護者のカウンセリングをする、面接をするだけではないということを目の当たりにしました。

学校現場では、いじめ、不登校、発達障害、生徒間暴力、教師のメンタルヘルスなど、さまざまな問題が山積しています。自殺する生徒のニュースも連日のようにテレビやインターネットで報道されています。そのような現状で、今後もますますスクールカウンセラーの役割はますます重要になると思いますし、同時に幅広い知識がさらに必要とされると思います。

学校が望むスクールカウンセラーは、学校によって様々だと思います。まずは、その学校で課題になっていることは何かを把握し、今後も充実した活動をして頂きたいと思っています。

(2) 私学スクールカウンセリング研究会のご案内

臨床心理士・私学SC 大森由紀

(KSCAより：この文章は、10月に書いていただきました)

暑かった夏も過ぎ、心地よい風が感じられる季節となりました。

SCにとって2学期は、長い夏休み明けということもありますし、文化祭・体育祭、宿泊行事、校外学習などの行事を控えている学校が多いこともあり、「気になるあの子、2学期の滑り出しはどうだったかな?」「行事が苦手なあの子はどうしているかしら?」と、個別の相談があってもなくてもなんだか忙しい!という時期ではないでしょうか。

公立学校でSCをしていたときには、行事を通じてその学校の地域性や風土を知るといったことがたびたびありましたが、私学においても、文化祭・体育祭が中高合同で行なわれたり、宿泊行事が遠方へ長期間だったりというハード面から、それぞれの行事に対する意味づけや意識といったソフト面まで、学校色がよく現れます。行事の多い2学期は、こうした学校独自の取り組みを通じて自分のつとめる学校の校風や教育理念を知るよい機会でもあります。

その中でSCとして受ける相談は、主訴としてまとめてしまえば“不登校”であったり“友人関係”であったりと公立

学校となんらかわるところはないものの、「わざわざこの学校を選んできたのに・・・」「こんなはずじゃなかった!」といった生徒・保護者の学校に対する期待と失望、「そんなことをいわれても・・・」という教職員の自負と困惑などが複雑に絡み合っていることも珍しくなく、公立以上に“その学校のSC”としてサポートにあたることが求められる点が、特色ある私学のSCの難しいところだなあと感じています。

公立SCのときには、地域ブロックの研修会があり、風土などある程度の共通理解のもと事例の検討や地域資源の情報交換を当たり前のように行なってきましたが、私学にはそれがなく、私学というのはその独自性や閉鎖性こそが特徴とはいえ、臨床心理士としての自己研鑽だけでは心もとなく、改めて相互研鑽の大切さも実感されました。

最近では、資格認定協会が私立学校臨床心理士支援事業をはじめたこともあり、私が私学SCを務めはじめた9～10年前に比べれば、私学SC同士の横のつながりや交流の機会も増えてきたように感じますが、そうした研修の場のひとつとして「私学スクールカウンセリング研究会」をご紹介したいと思います。

私学スクールカウンセリング研究会(代表 吉田章子)は首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉など)の私立学校(小・中・高など)でSCをしている臨床心理士(私学SC経験者を含む)の集まりです。相互支援や学びの場とし

Kanagawa School Counselor Association

て、1～2ヶ月に1回、事例検討会や情報交換、時には講師を招いての研修会を行なっています。会場は小田急線/井の頭線下北沢駅徒歩5分のらぶらす11階研修室、時間

は9:30～12:00です。参加ご希望の方は大森由紀(bxk06224@nifty.ne.jp)までメールにてご連絡下さい。

(3) 今後の予定

2/17 (火)

FUMO (緊急支援連絡会)

かながわ県民サポートセンター会議室302にて

19:00～20:45

※事前に申し込みが必要です

3/10 (水)

FUMO (緊急支援連絡会)

かながわ県民サポートセンター会議室603にて

19:00～20:45

※事前に申し込みが必要です

(4) KSCA連絡先

メール : office_KSCA@yahoo.co.jp

ホームページ :

<http://www.ksca.info/>

(google検索 : 「神奈川県スクールカウンセラー協会」)